

# 平成31年度シラバス

## 理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
生理学実習	実習	田中 靖人・小林 正明 喜田 直樹	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
30 時間 ( 1 単位)	15 回	1 年次	後期

### 授業の目的・概要

理学療法において重要な人体の機能について実習する。呼吸・循環等の反応および筋収縮、姿勢制御機構、運動学習等これらの反応を実習を通して確認する。

また、実習の進行における、実験方法、結果の処理、考察の仕方について習熟し、レポートを作成するまでを一貫して行う。

### 授業の到達目標

様々な生理的刺激に対し、ヒトがどのような反応を示すのかを実験によって明らかにし、その結果に対して、エビデンスに基づいた自分の考えをレポートとしてまとめることを目標とする。

### 授業計画

回	内容
1	実験オリエンテーション 1
2	実験オリエンテーション 2
3	実験 1 筋刺激時に起こる生体信号の抽出 1 (田中)
4	実験 1 筋刺激時に起こる生体信号の抽出 2 (田中)
5	講義 レポート作成のためのデータ処理・文献講読 1
6	実験 1 まとめ (田中)
7	実験 2 有酸素運動時の循環器系の反応 1 (小林)
8	実験 2 有酸素運動時の循環器系の反応 2 (小林)
9	講義 レポート作成のためのデータ処理・文献講読 2
10	実験 2 まとめ (小林)
11	実験 3 立位における重心動搖の理解 1 (喜田)
12	実験 3 立位における重心動搖の理解 2 (喜田)
13	講義 レポート作成のためのデータ処理・文献講読 3
14	実験 3 まとめ (喜田)
15	まとめ

### 成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験		
レポート	100%	3分野のレポート得点を合算して評価する。提出が遅れた場合は減点することがある。
小テスト		
平常点		
その他		
自由記載	実験に欠席した場合はデータがとれないため、レポート得点から減点することがある。	

### 教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
なし		
自由記載		

### 参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名

自由記載 レポート作成のために必要な文献については、担当教員から指示することがある

### 備考

実験1から3をグループでローテーションしていく。

実験データが収集できないと、レポートが書けなくなることがあるので、欠席しないこと。